

外務大臣表彰おめでとうございます

名誉会長 中村道子

外務省飯倉公館での授賞式は非常に厳粛なものでした。順々に代表者が呼ばれ、外務大臣から賞状を頂き、決った順路で着席する様子を見ながら、私はとても緊張しました。

有馬理事長が松本剛明外務大臣より賞状を受け取られた時に、「素晴らしい。良かった!」と胸が一杯になりました。

授賞式の後での代表と大臣との記念撮影、それに続いて別室でのレセプションに参加。やっと緊張が少し取れ、回りを見ると、小山内美江子先生のお姿が見えました。1992年のユニフェム国内委員会の発会式で後援者としての印象深いスピーチ、その後も何かと暖かく支援して頂いていることへの感謝を申し上げることが出来、とても嬉しく思いました。

1992年に蒔いた種が、皆さまの絶え間ない努力と奉仕で立派な樹となり、花を咲かせ、7月28日には外務大臣表彰という一つの大きな実を結びました。丁度、設立から特定非営利活動法人となった19年目となり、近く18年史が出版される素晴らしいタイミングだと思



外務大臣表彰は「諸外国との友好親善に寄与した功績」に対して、国内外の個人と団体に授与されるもので、今回表彰されたのは、個人68名、30団体（うち国内での受賞者は、個人16名、3団体）。



わずにいられません。これからはその樹が次々と花や実をつけ、どんなにか大きな樹木となることでしょう。

<2010年度拠出金支援プロジェクト>

2010年度拠出金は過去最高の10,818,542円 (128,539.98ドル) となりました。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。支援プロジェクトは以下の通りです。

- アフガニスタン：女性の経済的安定性と権利：持続可能な経済的資産を築くチャンス
1,759,463円 20,946ドル
- パキスタン：CEDAWを超えて—パキスタンにおける女性の人権を実現するための国家および国際的取組の実施促進
2,520,000円 30,000ドル
- ボスニア・ヘルツェゴビナ：ジェンダーに基づく暴力への認識向上と宗教間対話に果たす女性の役割
1,008,000円 12,000ドル
- フィリピン：ミンダナオにおける女性の平和と安全保障：国連安保理決議1325号および同決議に基づくフィリピン国内行動計画の地域における実施支援
1,700,000円 20,238ドル
- 暴力撤廃基金
2,131,079円 25,370.08ドル
- コア資金
1,700,000円 19,985.9ドル

UN Women 日本国内委員会講演会

2011年8月9日(火) 18:00~20:00

『UN Women 最新情報 UN Women 執行理事会年次会合を終えて』

講師：高林宏樹さん 外務省人権人道課首席事務官



外務省人権人道課首席事務官：高林宏樹氏はパワーポイントを交えて次のように講演された。

UN Women は今年1月に国連システム全体のより効果的な調整のために4機関が統合・移管。パン・ギムン国連事務総長も国連本体の重要なセクションであると認識されていて、今後ますますジェンダー関連の重要な機関となるだろうと期待している。

活動開始以来、第1回定期会合と執行理事

会年次会合(6月27日~30日)が開かれ、バチエレ事務局長はステートメントで『就任後15カ国以上を訪問した際の協議等を踏まえ6つの戦略計画優先分野と目標を設定。他の国連女性関連の機関と連携・調整し、戦略計画実施のために市民社会および民間セクターとの協力を重視したパートナーシップ強化に努める』と述べた。

「2011~2013戦略計画」のひとつ“現地レベルでの体制強化”に対して標準支援モデルをおき、“UNIFEM のプロジェクトベースでの支援”に加えてUN Womenでは“カンントリープログラム”を導入し、国・地域レベルの効率化を図るために75カ国で事務所体制を整備することが策定された。12月の第2回定期会合でサポート予算案の承認と現地報告が行われる。

貴重な情報が得られ、質疑応答も活発に行われた。

常任理事 鈴木賀子



助成金事業・女性のための護身術「Wen-Do講習会」が6月にスタートしました。

UN Women佐賀では、6月30日、佐賀市の西九州大学子ども学部と協働で、女子学生約40名を対象に実施した。女性への暴力の現実等の講義のあと、実技へ。大沼もと子講師の突然の大声に、学生たちはまず、びっくり。

「非力な女性でも隙をつくれれば逃げられる」との説明に納得。大声の出し方や呼吸法、抱きつかれる等の被害を想定し、相手の力を利用してふりほどく護身術を学んだ。「自分を守る方法を学ぶことができるとてもよかった」

と、講習会は大好評だった。佐賀新聞社の取材もあり、UN WomenをPRするよい機会にもなった。UN Women佐賀 事務局長 徳久栄子

*実施リストは、4ページ参照



大声を出しながら護身術を学ぶ学生たち(写真提供：佐賀新聞)

UN Women 東京

UN Women東京は、1月26日(水)に開催した総会行事で今年度の活動の幕を開け、新しい組織への転換を図りながら上半期の事業を進めてきた。総会記念講演会には、原ひろ子氏(UN Women 日本国内委員会副理事長)から「UNIFEM からUN Womenへ」と題する時宜に適した講演をいただき、これまでのUN Womenへの道程、今後の課題についての認識を深めることができた。その後、3月11日に発生した未曾有の大震災により、予定していた講演会、バザーなどのいくつかは中止や延期したのもあったが、チャリティコンサート「オペラとカンツォーネの夕べ—風の翼にのせて—」は、予定通り6月17日(金)に無事開催することができた。今回のコン



今回のコンサートでは、新進気鋭のふたりのオペラ歌手、テノールの川野名康夫氏、バリトンの手登根直樹氏によるオペラ歌曲とカンツォーネの数々が熱唱され、古賀政男音楽博物館「けやきホール」を埋めた参加者を魅了した。最後に、大震災の一日も早い復興を願って全員で「ふるさと」を合唱し、収益金の一部は国内委員会の大震災特別寄付金に寄託することができた。

「UN Women 東京News Letter」1号、2号を発行し、国連やUN Womenの動きをできるだけ多く会員に伝え、広報活動の充実を目指している。

会長 阿部幸子

UN Women 大阪

新たなスタートを切ったUN Women、そしてUN Women 日本国内委員会を広く知ってもらうためにTシャツをつくりました。

白、ピンク、ベージュ、紺の4色。サイズはXS、S、M、Lの4種類(男女兼用サイズ)です。1着1,500円で販売しています。ご希望の方は、UN Women大阪の事務局(Tel/Fax: 06-6460-8502)までご連絡



ください。代金振り込み用紙と一緒にお届けします。

秋には、チャリティコンサートとして、神谷徹さんのストロー笛コンサートを開催することになりました。神谷さんは、リコーダー奏者として世界的に活躍されるかわら、市販のストローで笛をつくり、全国でコンサートを開いておられます。精神科医の神谷美恵子さんのご子息でもいらっしゃいます。UN Womenについて知ってもらおうと同時に、大人と子どもと一緒にストロー笛の音色を楽しむ秋のひとつにしたいと思っています。 副会長 永田祥子

神谷徹 ストロー笛コンサート

日時:2011年11月3日(木・祝)14時開演

場所:クレオ大阪中央

(地下鉄谷町線・四天王寺前夕陽ヶ丘駅下車 徒歩約3分)

チケット:1000円(0歳児から参加可能)

UN Women さくら



東日本大震災の支援活動を展開。東北訪問は20回以上。阪神大震災と中越地震の経験を活かした支援物資は、すぐ必要なメガネ・厚手の下着・靴下・マフラー・口紅・眉墨・本・文具・タオル・資生堂の化粧品等。現場の要望に合わせながらも全て新品、自分がいただいて嬉しい品物を。UN Womenさくらのファイル5000枚は大好評。UN Womenの事務局長がチリ出身であることから、チリ地震の余波で津波を体験している人々は親近感を持たれたのだと思う。配送は自前の車で、南相馬市から八戸市まで約600kmの各地域に平等に配布。避難所では、ひとり2品ずつ自分で選んでもらう。現地に寄り添いつつ手渡し活動を続行。さくら親善大使の「カズン」と一冊の会親善大使候補の「ドンアルマス」が相馬と仙台で演奏を披露。感謝の声が届く。持続可能な支援活動として、津波で親を亡くした遺児への教育支援基金を設立。支援金は5月に宮城県内へ、7月に福島県内へ贈呈。次回は岩手県内を予定。「世界と議会」にすぐやる課の奮闘を掲載。原発と津波の被害が大きい磯部小学校の校庭に、早期復興を願いレスト王国大使と共にエコポローニャを植樹。小雪の

舞い散る3月から暑いお盆までの5カ月間の活動をUN Womenの誇りを胸に無事故で仲良く団結できたことに感謝の思いです。 会長 大槻明子

UN Women 佐賀

23年度総会を3月30日(会計年度1月～12月に改正)に開催。今年度は、Wen-Do講習会(6月)、国際ふれあいフェスタにおける花寄せ茶会とUN WomenのPR(9月)、暴力撤廃キャンペーン(12月)、そして年間を通して外国人育児サークルへの支援に取り組み、会の活動の広報と会員の定着と会員増に努める。

総会終了後、会員の懇親をかねて昼食会を開き、先の地域等委員会ネットワーク会議でのことや国連機構改革等の話題について思いを述べ合った。

6月30日(木)、西九州大学こども学部の女子学生を対象にWen-Do講座を開催。大学側の全面的な協力で成功裡に終了したことに感謝した。ただ、主催者の会の意義や活動について十分に周知できなかったことが課題として残った。このような取り組みは今後も参加していきたいと思う。

事務局 徳久栄子

UN Women よこはま

年の活動は2月6日の総会で幕を開けました。UN Womenに名称を新ためた初の総会で、ミチエル・バチレ事務局長の言葉が冒頭の会長挨拶で引用され、国内委員会からも日本が執行理事会のメンバーになったことなどが報告され、新しい出発にふさわしいものとなりました。

3月6日にはアートフォーラムあざみ野で「国際女性デー2011～つながる輪ひろがる和～」を開催しました。基調講演ではNPO法人ファザーリング・ジャパン理事の東浩司氏が「イクメン(育児する男)が社会を変える」と題してユーモアあふれるお話をしてくださいました。続くシンポジウム「自分らしく輝こう：子育て世代への応援歌」では子育て支援にかかわっている3人のシンポジストが自分たちの活動や、子育てへの熱い思いを語ってくれました。また11団体が自慢の手作りグッズを販売し、オープニングのフルート演奏とあいまって、イベントに花を添えてくれました。会場は親子ずれ、



年配のご夫婦などが目立ち、3世代が一堂に会した感がありました。

UN Womenよこはまは国内委員会のエイボン基金助成金を得て4つのWen-Doイベントを開催します。

1回目は6月29日に明治学院大学で開かれ、学生、先生、UN Womenよこはま会員が参加し、護身術の目的、実技などを学びました。次回は地域の住民を対象に横浜市踊場地区センターで8月7日に開催されます。

新しい経験は、明治学院大学の学生をインターンに迎えたことです。授業の一環として行われるもので、私たちも期待に沿えるよう大学側との交渉を重ね、学生の希望も聞くよう努力しました。イベントのサポート、若者向け広報チラシの作成、ニュースレターへの執筆、ニュースレター作成サポート、ショップのお店番などをお願いしています。

副会長 本田敏江

UN Women 多摩

2月20日、第15回総会を昭島市で持ち、2011年度がスタートしました。UN Womenへの、名称の移行がひとつの問題でした。皆さんの意見もいろいろ出されましたが、コンサートに来ていただいたり、募金活動にご協力いただいている方々に、今年一年かけて名称が変わったことをご理解いただく必要があるという意見が多く、また内容的にもしっかり説明ができなければ、今後いままでどうりのご協力をいただけなくなる事も起こるのではという心配の声もありました。

ニュースレターや、コンサートの時々にお集まりくださった皆さまに、UN Womenの説明をしていき、活動内容は今までと変わらないことをご理解いただき、よりいっそうの協力をお願いしていきたいということが確認されました。総会終了後懇親会を兼ねホーミーのコンサートをおこないました。

その後3.11の災害から活動が思うようにいかず、6月19日三線のコンサートも開けるか心配でしたが、当日は予定人数を上回る方々がお集まりいただき、盛況のうちに終わりました。 事務局 小川裕未

UN Women 北九州

「ユニフェム北九州」は、今年4月から「UN Women北九州」へと名称を変更しました。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします

UN Women 日本国内委員会研修会

2011年7月12日（火）18：00～19：20

『国連グローバル・コンパクトと女性のエンパワメント原則』

講師：大西祥世さん 法政大学現代法研究所、国連グローバル・コンパクト研究センター研究員、法学博士

2000年、国連は、人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、そして腐敗の防止の4分野に関わる基本原則10項目を掲げる、国連グローバル・コンパクト(GC)を作成しました。現在、その趣旨に賛同する8000以上もの企業や組織が、その原則を遵守した経営を約束し、国連とともに持続可能な社会の実現に向け、努力をしています。2010年には、UN IFEM（当時）と国連GC事務局が共同で、国連GC10原則で十分に表現されていない男女平等の推進について、それを補完するために『女性のエンパワメント原則』（WEPs）と

いう指針を定めました。今回、大西氏は、この2つの原則が作られた背景や意義、世界や日本の企業における WEPsの活用事例、今後の課題などについて、大変わかりやすく説明くださいました。職場、市場、地域社会において女性の力を引き出すことは、企業をはじめとする組織の持続的な成長を意味していません。企業の方々と連携を取りながら、女性が抱える課題の解決に取り組もうとする私たちにとって、非常に示唆に富んだ講演となり、質疑応答も活発に行われ、充実した研修会となりました。 常任理事 吉川真由美

【女性のエンパワメント原則】

1. ジェンダーの平等に向けた企業経営者のリーダーシップ構築
2. 職場でのすべての女性・男性の公平な待遇——人権尊重と差別撤廃への理解と支持
3. すべての女性・男性従業員の健康、安全、福祉の保証
4. 女性のための教育、研修、専門性開発の促進
5. 女性のエンパワメントにつながる事業開発、流通、マーケティングの実践
6. 地域社会の主体的活動と啓発による平等の促進
7. ジェンダー平等達成への進捗状況の把握と公表

「升本美苗基金」の動き

常任理事 安陪陽子

「升本美苗基金」の「助成金」については、2010年度実施分を募集しましたが、趣旨に沿った応募がなく、不支給としました。近年、応募も少なくなったことから、検討した結果、「初期の目的は達成された」として、中止といたしました。

また、2011年から、国連女性機関等の統合により「ユニフェム」は改称され、「UN Women」となりました。

「升本美苗基金」の今後については、「升本美苗基金」規程の「第7条③ユニフェム日本国内委員会の活動助成を行う」に則って、升本美苗様の遺志に沿った活動を続けます。

「升本美苗基金」の助成金を受けた団体は、2005年から2010年までに、述べ12団体とな

り、それぞれ、途上国の女性の自立のために、多くの困難を乗り越えて活動し、途上国の女性に喜びと自信と生きる希望を与えてくれました。

ユニフェム日本国内委員会の活動の中で、途上国の女性のために、最も成果を上げたものと確信しております。

升本美苗様に心から「ありがとう、お陰さまで」と感謝申し上げます。

これもひとえに、関係者の皆様のお陰と、ここに、「升本美苗基金」運営のために「運営委員」として、知恵を出して下さった委員の皆様と助成金該当者の選考にご尽力いただきました「選考委員」の皆様から心から御礼申し上げます。

UN Women 日本国内委員会・女性に対する暴力に「ノー」と言おうキャンペーン
 エイボン・女性のためのエンパワメント基金」助成金事業
 女性のための護身術「Wen-Do講習会」実施予定リスト

2011.9.9現在 敬称略

回	日付	申請会員名	協働団体名	コース	予定人数(名)
1	6月29日	UN Womenよこはま	明治学院	B	国際学部斉藤・合場ゼミ20
2・3	6月30日	UN Women佐賀	西九州大学子ども学部	B	2回/学生 午前52、午後81
4	7月3日	ソシエテ彩	さいたま市ガールスカウト連絡協議会 埼玉県ガールスカウト第11団	A-1	一般20
5	7月15日	岡島克樹	大阪大谷大学	その他	学生40
6	7月17日	江崎恵	つくば市防犯ボランティア会	A-1	一般20
7	7月20日	坂東真理子	昭和女子大学緑声舎	B	学生20
8	7月22日昼	UN Women北九州	財アジア女性交流・研究フォーラム、 北九州市立男女共同参画センター・ムーブほか	B	中学2年30
9・10	7月22日夜・23日昼	UN Women北九州	同上	A-1	2回/各20
11	8月5日	参画プラネット	名古屋市男女共同参画推進センター	A-1	一般20
12	8月6～7日	参画プラネット	名古屋市男女共同参画推進センター	C	受講経験者20
13	8月7日	UN Womenよこはま	横浜市踊場地区センター	A-1	一般20
14	9月10日	群馬婦友会	NPO法人ウイメンズウイルぐんま	A-2	一般20
15	9月25日	ソシエテ彩	さいたま市ガールスカウト連絡協議会 埼玉県ガールスカウト第11団	A-1	一般20
16	9月27日	UN Womenよこはま	男女共同参画センター南太田	A-1	会員・一般20
17	10月6日	大阪市女性協会	明浄学院高校	B	高校2年生153
18	10月15日	UN Womenさくら 東北グループ	NPO法人やませデザイン会議	A-1	一般20
19	10月18日	群馬婦友会	NPO法人被害者支援センター すてっぐんま	A-2	一般20
20	10月19日	群馬婦友会	群馬県立女子大学	B	学生20
21	10月21日	UN Womenよこはま	カリタス学園高校	B	教員20
22	10月22日	UN Women東京	青山学院女子短大	B	学生20
23	10月30日	ソシエテ彩	さいたま市ガールスカウト連絡協議会 埼玉県ガールスカウト第11団	B	少女20
24	11月3日	伊藤有理沙	北海道国際協力学生ネットワーク	A-2	学生20
25	11月5日	橋本ヒロ子	十文字学園女子大学	B	学生・一般20
26	11月19日	京都市男女共同参画センター	京都市ユースサービス協会ほか	A-2	学生20
27	11月19日	浜松市男女共同参画推進センター	あいゆうねっと	A-2	一般20
28・29	11月中旬 午後2回	三輪敦子	京都女子大学法学部	A-2、B	教員、学生各20
30	11月26日	三輪敦子	摂津市男女共同参画センター	A-1	一般20
31	12月2日	UN Women大阪	大阪市女性協会	A-1	会員20
32・33	12月	三輪敦子	尼崎女性センター・テレビエ	A-2、B	一般、学生各20
34	12月～2012年1月	伊藤静香	名古屋市立大学	A-2	大学及び病院職員20
35・36	12月～1月	伊藤静香	名古屋市立大学	B	2回/学生各20
37	2月4日	京都市男女共同参画センター	パープルウイングWen-Do同好会	A-2	一般20
38	2月4日	田中由美子	参画ネット・ノースヴィレッジゆう	A-1	知的障がいのある女性10
39・40	2月11～12日	三輪敦子	京都YMCA	A-2、B	一般20、学生各20
41	2月18日	田中由美子	榊ヴィ・街なか	A-1	知的障がいのある女性を サポートする方々20
42・43	2月18日午前・午後	群馬婦友会	前橋市いきいき生活課男女共同参画室 NPO法人ひこばえ	A1、A-2	2回/一般各20
44	2月25日	UN Womenさくら	NPO法人一冊の会	A-1	会員20
45	2～3月	三輪敦子	寝屋川市立男女共同参画推進センター	A-2	一般20
46	3月	大阪市女性協会	開明高校	B	学生30

(注) A-1/入門2時間 A-2/入門3時間 B/女子学生向け C/ベーシック2日間 12時間

さて、UN Women 北九州では、今年も7月の北九州市立男女共同参画センター・ムーブの開館記念行事「ムーブフェスタ」に合わせ、事業を行いました。

まず、毎年、恒例となっている「チャリティ・バザー」を16日に開催し、多くの市民のみなさんにご来場いただきました。

続いて、大沼もと子先生をお迎えして開催した、



「女性のための護身術“Wen-Do講座”」を、22・23日の2日間にわたって3回開催しました。参加者は、開始早々大沼先生の大声にびっくりさせられましたが、次第に先生のお話と実技指導に引き込まれていきました。

そして3つ目は、「タブー パキスタンの買春街で生きる女性たち」講演会です。アジア女性交流・研究フォーラムの太田まさこ主任研究員を講師として、29日に開催しました。パキスタンにおける、買春街と一般社会のなかで生きる女性たちをジェンダーの視点から比較するなかで、私たちの住む日本の社会についても深く見つめ直す機会となりました。

事務局長 河野賢司

UN Women 堺

UN Womenに名称も変わり、更なる発展に向けて、一人でも多くの人にUN Womenを知ってもらおうと周知活動に力を注いでいます。

堺市内の各イベントでのバザー開催によるPRや、市内各7区においてUN Women日本事務所との協力で講演会を開催しました。



また、今年初めての取り組みとして1億人のバレンタインキャンペーンを企業に呼びかけチョコレートの販売による売り上げの一部をチャリティとしてご寄付いただきました。

会長 重松加代子

事務局からの報告

■2011年度総会報告

2011年3月5日(土) 午後1時～2時30分、東京ウィメンズプラザ視聴覚室にて開催。

2010年度事業報告・決算、2011年度事業計画・予算、およびUN Women日本国内委員会への名称変更に係る定款変更が承認された。また、升本美苗基金の一般向け助成金事業の終結、およびそれに伴う升本基金規程の改正が報告された。

2010年度決算報告(2010年1月1日～12月31日) 単位:円

一般会計

■収入の部		■支出の部	
会費収入	2,828,000	事業費	1,805,788
事業収入	0	拠出金	10,818,542
寄付金収入	13,105,697	管理費	3,922,766
升本基金繰入	1,000,000		
雑収入	1,234		
当期収入合計	16,934,931	当期支出合計	16,547,096

升本基金

■収入の部		■支出の部	
利息	11,606	一般会計に繰出	1,000,000

当期収支差額 Δ600,559

前期繰越収支差額 12,589,007

次期繰越収支差額 11,988,448

■内閣府男女共同参画推進連携会議(連携会議) 団体推薦議員に、三輪敦子常任理事が就任しました。

内閣府男女共同参画局では、男女共同参画社会づくりに関し、広く各界各層との情報・意見交換その他の必要な連携を図り、国民的な取り組みを推進するために、「男女共同参画推進連帯会議」を平成8年に発足させました。連帯会議は有識者議員と各界の団体推薦議員により構成され、政府の政策や国際的な動きについての情報提供を行うなど、積極的な取り組みを展開しています。このたび、日本国内委員会は内閣府より団体推薦議員の推薦依頼を受け、三輪敦子常任理事を推薦しました。今後の活躍が期待されます。

■UN Womenでは、このほど『Progress of the World's Women 2011-2012 IN PURSUIT OF JUSTICE』(A4版164ページ)を刊行しました。

『世界の女性の進歩』はユニフェムが2年毎にテーマを定めて世界の女性の状況をまとめた報告書です。Executive Summaryともども原書が数冊事務局に届いておりますので、入手希望の方はご連絡ください。

事務局からの報告

■東日本大震災特別募金

UN Women日本国内委員会では、UN Women本部から特別の許可を得て、東日本大震災で被災された女性・少女への特別募金を実施しています。本部は今回の甚大なる被災状況を考慮し、日本国内委員会会員（地域等委員会も含む）が被災会員への支援に限っての募金を承認しました。募集期間は12月31日まで。8月31日現在高は99万81円となっています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

三菱東京UFJ銀行 戸塚支店 普通預金

口座番号 1118955

名義 特定非営利活動法人ユニフェム日本国内委員会特別募金

■特別募金寄付者一覧（2011.8.31現在）

伊藤千鶴子 遠藤みち 矢澤澄子 吉崎邦子 藤井紀代子 本田敏江 内野淳子 戒能民江 キノシタアキコ 山本美智子 酒井興子 山野辺あみん UN Women佐賀 桧山シゲ子 山本紀子 佐伯律子 オウマアキコ 国際ソロプチミスト北九州一南 岩崎雅美 横井千香子 織田由紀子 UN Women東京 大脇雅子 ナカオミチヨ 有馬真喜子 宮坂洋子 渡邊皓子 高橋克子 鈴木賀子 乙黒重子 斉藤節子 平野和子 西村洋子 衛藤榮津子 NPO法人参画プラネット

■寄付者一覧（前号掲載以降2011.8.31）

ビューティショップK UN Women佐賀 UN Women北九州 UN Womenよこはま UN Women大阪 UN Women堺 UN Women多摩 UN Womenさくら UN Women東京 鳥羽雅子 エイボン・プロダクツ(株) 橋本ヒロ子 吉江浄善 彩歩の会 エキサイト(株) 潮谷義子 黒河内久美 石橋三洋 松永史子 安西美津

子 池田路子 全国友の会 資生堂花椿基金 (株)資生堂 中央労働金庫 電源開発(株) 有馬真喜子 佐伯律子 国際ソロプチミスト京都 渡慶次重美 群馬婦友会 国際ソロプチミストアメリカ日本西リジョン 国際ソロプチミスト大阪門真 資生堂健康保険組合 中村道子 永井多恵子 宮澤知子

■正会員団体21団体(2011.8.31現在)

〈団体〉(財)アジア女性交流・研究フォーラム NPO 法人一冊の会 (財)大阪市女性協会 群馬婦友会 国際婦人年連絡会 堺市女性団体協議会 (財)佐賀県女性と生涯学習財団 NPO法人参画プラネット 全国友の会 ソシエテ彩 (財)福岡県女性財団 UN Women堺 UN Women多摩 UN Womenよこはま (公財)横浜市男女共同参画推進協会

〈企業〉イオン1%クラブ (株)高島屋 日本生命保険(相) 日本たばこ産業(株) パナソニック電工(株)

■正会員個人41名（前号掲載以降新会員2011.8.31現在）

猪口邦子 目黒依子 荒真理 三隅佳子 三輪敦子

■賛助団体15団体（2011.8.31現在）

〈団体〉イエローライン (公財)京都市男女共同参画推進協会 久留米市男女平等推進センター (社)国際女性教育振興会茨城県支部 越谷ミズの会 (財)せんだい男女共同参画財団 (社)大学女性協会静岡支部 NPO法人新潟国際ボランティアセンター にいがた女性会議 日本生活協 同組合連合会 浜松市男女共同参画推進センター プロジェクトILD 北翔大学同窓会淑萃会
〈企業〉(株)グッドバンカー (株)電通

■賛助個人187名（前号掲載以降2011.8.31現在）

土井香苗 藤井郁子 伊藤静香 伊藤有理沙 岡島克樹 江崎恵 山田悦子

(NPO法人) UN Women 日本国内委員会

旧称:ユニフェム(国連女性開発基金)日本国内委員会

事務局

〒244-0816 横浜市戸塚区上倉田町435-1

男女共同参画センター横浜内(フォーラム)

・TEL. FAX. 045-869-6787

・Email unwomennihon@adagio.ocn.ne.jp

・ホームページ <http://www.unwomen-nc.jp>

●交通のご案内 JR・横浜市営地下鉄「戸塚駅」下車、徒歩7分

